

そんなり通信 vol.84



地域活動支援センターMネット 広報誌 H28年9月号

発行者：社会福祉法人Mネット東遠 地域活動支援センターMネット

菊川会場：菊川市本所 1407-4 TEL0537-28-9716

小笠会場：菊川市赤土 1660-1 TEL 0537-73-1020 FAX0537-73-1034

8月のサロン活動

8月23日（火）【駿府匠宿見学：静岡市】

駿府匠宿には初めて行く方が多く、出発前から「どんなところなの?」「何があるかな?」と話をしながらわくわくして出掛けました。今回は和染や陶芸などの体験は行いませんでしたが、展示コーナーにある雛人形や駿河竹千筋細工など静岡県のさまざまな伝統工芸品をみることができました。夏休み期間ということもあり、館内には『まりこわくわく水族館』『プラモデル展』もあり、プラモデルが好きな方はきっと興奮したのではないかと思います。静岡市までちょっぴり長旅になりましたが、車中ではボランティアさんが盛り上げてくださり、楽しい旅路になりました。



9月のサロン予定

9月のサロンは以下の内容で行ないます。参加をご希望の方は、1週間前までに地域活動支援センターMネット（TEL0537-73-1020）にお申し込み下さい。

又、4月からの調理サロンの材料費は、メニューに沿って300円から500円の範囲で、実費分を徴収させていただきます。ご了承ください。

日にち：9月6日（火）

内容：天ぷらを揚げてみよう！

時間：9：00 赤土集合、出発 9：30 プラザけやき南口集合。

場所：プラザけやき栄養指導室

持ち物：材料費300円、エプロン

日にち：9月23日（金）

内容：竹で自分の箸置きを作ろう！（クラフトもやります！）

時間：9：00 赤土集合、出発、

9：30 地域活動支援センターMネット本所（きくがわ作業所内）集合

12：00 終了予定

場所：地域活動支援センターMネット本所会場（きくがわ作業所内）

持ち物：なし

活動紹介・4 工房オアシス

社会福祉法人 M ネット東遠が運営する「工房オアシス」は、菊川市赤土の周囲を田畑に囲まれたのどかな立地にあります。現在の登録者は 19 名で毎日 10 名くらいの方が通所しています。職員は 3 名でクリーニングや内職作業等をおこなっている就労継続支援 B 型事業所です。

これまで小笠地区には、精神障害者の作業所がありませんでした。このため、もともとは別の団体が使用していた建物を M ネット東遠が買い取り、平成 23 年 12 月 1 日「工房オアシス」が開設しました。この「工房オアシス」という名前は、M ネット東遠の法人内での公募によるものですが、メンバーさんが考えてくれたものが選ばれました。今では名前が定着し、文字通りオアシスのように人が憩い集う場になっています。

作業所の開設当初は、利用者が 5 人くらいで内職作業をおこなっていました。内職作業の内容は、クリスマスの電飾ライトの点検やその梱包作業、正月飾り作りなどでした。

平成 24 年 4 月 18 日、クリーニング棟が完成し、現在、主力となっているクリーニング作業が開始となりました。今では 2 台の業務用洗濯機と乾燥機が毎日フル稼働しています。同年 11 月には建物の外壁に、常葉菊川高校美術部員と一緒に壁画を作成しました。今ではオアシスのシンボルとなっています。

ここで、「工房オアシス」に通所しているメンバーさんからの寄稿をいくつか紹介します。

- 朝、工房オアシスに来ると、いつも明るく「おはようございます」と声をかけてくれて、私も「おはようございます」と言うけど、ありがたいです。そして「今日もお願いします」と言われて「1 日頑張らなくては……」と思います。
- 私にとってオアシスは、気持ちを共感して下さる仲間たちのいる癒しの場です。病気と闘いながらも皆さんが頑張っている姿を目の当たりにしていると自分も頑張らないと、と思います。
- オアシスがあるところは落ち着ける場所なので、外をながめてボーっとしています。タオルは、ホカホカで気持ちいいのでタオルたたみが好きです。作業だけでなくコミュニケーションもこれから頑張っていきたいです。
- 人と出逢い、励みになる場。自分にとってもそういう場なので皆さんにとってもそういう場になればいいなと思っています。ここに集まるメンバーによって自由に変化していくオアシスになるといいなあとと思っています。

作業所の窓から見える景色は四季様々です。

今は、すでに収穫が済んだ田んぼがあちこちに見えます。

暑かった夏もゆっくりと季節のバトンタッチをしているようです。

